

## 東日本大震災復興対策本部会合（第10回） 議事録

1 日 時：平成23年11月29日 18:35～18:50

2 場 所：官邸2階 大ホール

3 出席者：（※代理含む）

【本部長】野田佳彦内閣総理大臣

【副本部長】藤村修内閣官房長官〈進行〉、平野達男東日本大震災復興対策担当大臣

【本部員】川端達夫総務大臣、平岡秀夫法務大臣、玄葉光一郎外務大臣、安住淳財務大臣、中川正春文部科学大臣、小宮山洋子厚生労働大臣、鹿野道彦農林水産大臣、枝野幸男経済産業大臣、前田武志国土交通大臣、細野豪志環境大臣、一川保夫防衛大臣、山岡賢次国家公安委員会委員長、自見庄三国务大臣、古川元久国务大臣、蓮舫国务大臣、齋藤勁内閣官房副長官、長浜博行内閣官房副長官、竹歳誠内閣官房副長官、津川祥吾国土交通大臣政務官（岩手現地対策本部長）、郡和子内閣府大臣政務官（宮城現地対策本部長）、後藤斎内閣府副大臣、松下忠洋経済産業副大臣、浜田和幸外務大臣政務官

4 配布資料

番号なし 説明資料

資料 1 各府省の事業計画と工程表のとりまとめ -公共インフラ、全体版-

資料 2 各府省の事業計画と工程表のとりまとめ -公共インフラ、地域版（抜粋）-

資料 3 各府省の復興施策の取組状況のとりまとめ -公共インフラ以外の復興施策（抜粋）-

参考資料 応急仮設住宅の居住環境等に関するアンケート調査結果を踏まえた対応について（応急仮設住宅の居住環境等に関するPT 中間報告書）

5 議事次第

1. 開会

2. 総理大臣発言

3. 議 事

（1）復興施策に関する国の事業計画及び工程表の見直し

（2）市町村における復興計画策定の状況

（3）国立国会図書館における震災の記録の取組（報告）

4. 質疑等

5. 閉会

## 6 議事録

**官房長官**：ただ今から、第10回東日本大震災復興対策本部を開催する。

本日の議題は、3件である。

1つ目は「復興施策に関する国の事業計画及び工程表の見直し」である。

2つ目は「市町村における復興計画策定の状況」である。

3つ目は「国立国会図書館における震災の記録の取組」である。

以上の3件について平野復興担当大臣から御報告いただいたあと、御質問等も兼ねて自由討議を行いたい。はじめに、内閣総理大臣から御挨拶をお願いしたい。

**野田総理大臣**：この会合も10回を重ねた。3月の発災以来、各府省の関係者は、閣僚以下、被災自治体との連絡調整をはじめ、精力的に取り組んでくれてきていると思う。しかし一方で、今に至るまで、「迅速さに欠け、必要な方への支援が十分に行き届いていない」という批判もある。そのことは、内閣としてしっかりと心に留め、被災地の復興を加速していかなければならない。

先般、国会で本格復興に向けた「第三次補正予算」が成立した。政府としては、ここに掲げられた復興関連施策を早急の実施に移していく。

本日の会合では、三次補正予算の成立を踏まえ、復興施策に関する国の事業計画と工程表の見直しについて、平野大臣から御報告いただく。

被災地の厳しい冬はこれから本番。被災自治体の復興プランも、多くは年内には出揃う。一つ一つの事業が早急かつ円滑に進められるよう、改めて気を引き締めて取組んでほしい。

**官房長官**：ありがとうございました。それでは、さっそく議事に入らせていただきたい。3件の議題について、平野復興担当大臣からまとめて御説明をお願いしたい。

**平野復興担当大臣**：（※資料1～3により説明）。

なお、現在、復興対策本部では、福島復興に向け特別措置法の立案作業に取り組んでおり、関係各府省には具体的な検討依頼が届いていることと思う。各本部員におかれては、福島県からの要望が可能な限り実現されるよう、引き続きご協力をお願いしたい。

**官房長官**：ありがとうございました。それでは、それでは、皆様から御質問等あれば、自由に御発言いただきたい。

（※発言なし）

**官房長官**：発言もないようなので、本日は、ここまでとしたい。ありがとうございました。

（以 上）